

脳卒中ってどんな病気？

TAKE FREE

のう そっ ちゅう

脳卒中

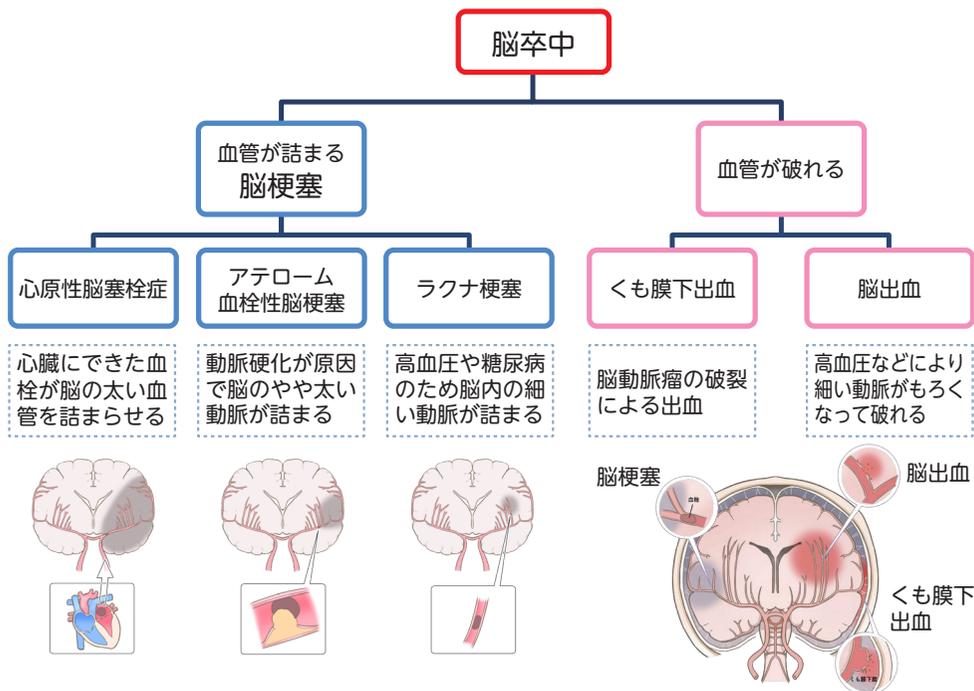
ってどんな病気？



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

突然起こる病気です。

脳卒中には、大きく分けて脳の血管が詰まる虚血性脳卒中(脳梗塞)と、脳の血管が破れる出血性脳卒中(脳出血、くも膜下出血)があります。



予防（脳卒中予防 10 か条）

脳卒中予防10か条

（日本脳卒中協会）

- ① 手始めに **高血圧** から 治しましょう
- ② **糖尿病** 放っておいたら 悔い残る
- ③ **不整脈** 見つかれば 次第 すぐ受診
- ④ 予防には **たばこ** を止める 意志を持って
- ⑤ **アルコール** 控えめは薬 過ぎれば毒
- ⑥ 高すぎる **コレステロール** も 見逃すな
- ⑦ お食事の **塩分・脂肪** 控えめに
- ⑧ 体力に 合った **運動** 続けよう
- ⑨ 万病の 引き金になる **太りすぎ**
- ⑩ 脳卒中 起きたら **すぐに 病院へ**

日頃の生活を少し工夫するだけで、脳卒中になるリスクを大幅に下げられます。

脳卒中予防10か条は、こうした脳卒中にならないためのポイントをわかりやすくまとめてあります。10か条を意識することは、再発率の高い脳卒中中の再発予防にも役立ちます。

高血圧は、脳卒中の最も大きな危険因子です。また、糖尿病の人はそうでない人より2～3倍脳梗塞にかかりやすいと言われています。食生活管理や運動により、これら危険因子の予防を心がけましょう。

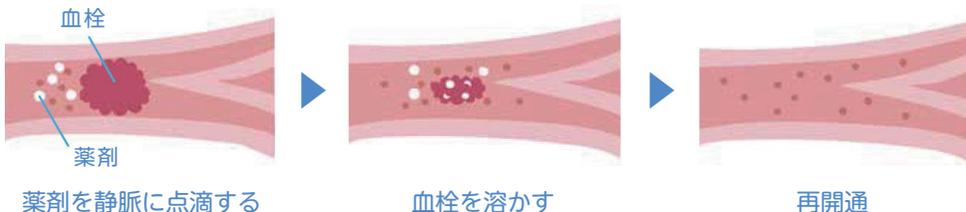
脳梗塞の治療

1分1秒でも早く治療を開始することが大切！

「血管の詰まりを点滴で溶かす t - P A 療法」

脳の血管に詰まった血栓をt-PAという薬を注射して溶かし、血流を回復させる治療法です。この治療は発症後4時間30分以内に行う必要があります。

発症してから病院に到着し、様々な検査を行い、薬を注射するまでを**4時間30分以内**に行わなければいけないため、脳卒中が疑われる症状が見られた場合には、**なるべく早く救急車を呼ぶことが大切です。**



「血栓回収療法」

主に足の付け根の血管から、詰まっている脳動脈までカテーテルという細い管を誘導し、下のような器具を用いて回収します。



網目状のステント※に
血栓をからめて回収する



血栓を掃除機のように
吸い取って回収する

※ステント：金属でできた網目の筒状のもの

画像提供：日本ストライカー株式会社

FAST を覚えましょう！

治療の開始が早ければ早いほど、助かりやすく、後遺症も残りにくくなります。脳卒中の特徴をあらわした**FAST**を覚えて、大切な人を守りましょう。

これって脳卒中？合言葉は「FAST」

Face

- 顔の半分が下がる
- 笑顔がつかれない



Arm

- 片方の腕に力が入らず、両手をあげようとしても片方が上がらない



Speech

- ろれつが回らない
- 短い文でも言葉がでない



Time

- 症状に気付いたらすぐ119番
- 発症時刻をチェック



どれか一つでも当てはまったら、すぐに119番を！



作成年月：令和6年11月

制作：横浜市立脳卒中・神経脊髄センター

電話：045-753-2500

監修：城倉 健（副病院長、脳卒中・
神経疾患部門長、脳神経内科部長）
山本 良央（脳神経内科担当部長）